

ごみ収集車両の火災が 多発しています

☎ 環境事業課 (☎820・7400)

不燃ごみ回収時の火災が多発しています。主な出火原因は、電化製品に使用されているリチウムイオン電池など(以下、小型バッテリー)やライター、スプレー缶の混入などです。

小型バッテリーの分別をお願いします。

スマートフォンやコードレス掃除機などの小型バッテリーが入っている機器は、小型家電回収ボックス(青色)か、電池を機器から取り外した状態で小型バッテリー回収ボックス(黄色)に投入してください。

回収ボックス設置場所

☎ 環境総務課 (☎824・0911)

市役所、保健福祉センター、保健所、産業振興センター、子育てリフレッシュ館、こどもセンター、各シティ・ステーション(西除く)、市民会館、市民体育館、各コミュニティセンター、エスポール、イオンモール四條畷(小型家電回収ボックスのみ設置)



今年もやります! フードドライブ

☎ 環境総務課 (☎824・0911)

家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設などに寄付します。家庭にある食品を持って来てください。

- ▶ 実施期間 10月1日～30日
- ▶ 回収場所 市役所本庁舎1階、産業振興センター1階、保健福祉センター1階

回収対象食品

賞味期限が12月初旬以降で、包装・外装が破損していない未開封の缶詰、インスタント・レトルト食品(冷蔵・冷凍品は除く)、調味料、嗜好品、乾物、飲料(アルコールを除く)、乳児用食品、健康食品



※詳しくは問い合わせてください。



☎ 環境総務課 (☎824・0911)

市内小中学校に、菓子箱や紙袋などの雑紙やペットボトルキャップの回収ボックスを設置します。児童・生徒が雑紙などを持って来て分別すると、デザートがもらえるなど、子どもたちが楽しくごみの分別ができるような取り組みです。



ごみ減量プロジェクト 第2弾 始動
 令和5年までの4年間を「ごみ減量プロジェクト第2弾」として、一人一日当たりの排出量を令和元年度より45g(焼却ごみ量は23g)削減することを目指します。

ごみ通信

10月は環境美化推進&3R推進&食品ロス削減月間です

ごみを“たい肥”に再資源化

生ごみたい肥化・土づくり講習会

土のう袋に米ぬかや土、生ごみを入れてたい肥を作ります。初めての人もぜひ。

- ▶ 日時 10月27日(火)午後2時～3時
- ▶ 場所 西コミュニティセンター
- ▶ 対象 市内在住・在職・在学の高校生以上の人10人

申込・☎ 住所、氏名、年齢、電話番号、当日の来場手段を郵送、電話又はFAXで10月19日(月)=必着=までに環境総務課(〒572-0855 寝屋南一丁目2番1号市クリーンセンター内☎824・0911、FAX 821・3349)

※車での来場は控えてください。

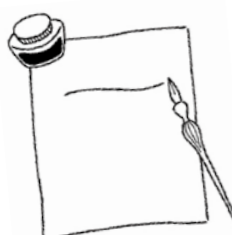
落ち葉の再資源化に協力を

「地域清掃」で集めた落ち葉(枝や葉など)を市で回収し、たい肥への再資源化を行った後、自治会などに還元します。

- ▶ 実施期間 10月1日～令和3年3月31日
- ▶ 流れ

- ① 環境事業課に申し込み、落ち葉収集用の専用袋をもらう
- ② 地域清掃などで落ち葉を分別して収集、ごみ捨て場に集約
- ③ 市が回収し、落ち葉を堆肥に再資源化して配布

申込・☎ 環境事業課 (☎820・7400)



お手紙ありがとうございます

ごみ収集作業員への激励の手紙がたくさん寄せられています。市民の皆さんのため、コロナ禍でも日々ごみ収集をする作業員への感謝の気持ちや労いの言葉が書かれていて、作業員の大きな励みとなっています。いただいたお手紙はクリーンセンターの見学スペースに展示しています。

